

## 平成22年度普通会計決算の状況

平成22年度普通会計決算規模は、

歳入決算額 7,171億8,711万8千円

歳出決算額 6,935億8,198万4千円

で、前年度と比べると、歳入は約416億円の減（ 5.5%）、歳出は約445億円の減（ 6.0%）となっています。

歳入では、県税は、国の税制改正により法人事業税の一部が国税に振り替わったことによる法人事業税の減や、平成21年分の所得を反映した個人県民税の減などにより、総額では約65億円の減（ 5.5%）となっています。

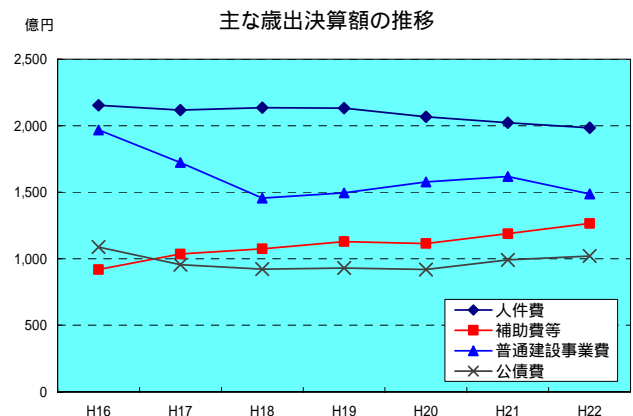
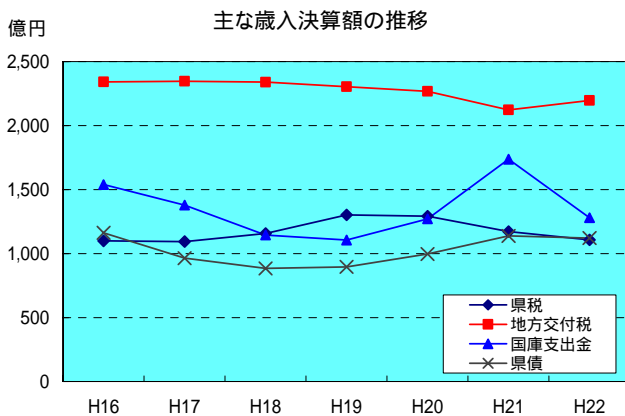
国庫支出金は、平成21年度に国の経済対策として措置された各種交付金（介護職員処遇改善、地域医療再生、緊急雇用創出などの基金原資、公共投資臨時交付金、経済危機対策臨時交付金）の減等により約458億円の減（ 26.3%）となっています。

県の借金である県債は、借換債を含むと約28億円の減（ 2.1%）となっており、借換債を除く実質的な県債についても、退職手当債の減少等により約17億円の減（ 1.5%）となっています。

歳出では、性質別に見ると、人件費が職員給の減等により約38億円の減（ 1.9%）となったものの、公債費が元利償還金の増等により約30億円の増（ +3.0%）となり、扶助費を併せた義務的経費は前年度より約9億円の増（ +0.3%）となっています。

また、普通建設事業費が補助事業の減少等に伴い約123億円の減（ 7.7%）となり、災害復旧事業費を併せた投資的経費は全体として約121億円の減（ 7.5%）となっています。

その他の経費では、積立金が各種交付金の特定目的基金への積立の減少により、約349億円の減（ 70.0%）等となっています。



## 普通会計決算状況累年比較

(単位：千円)

区分	年度	17	18	19	20	21	22
1 歳入総額 A		692,641,434	666,382,052	671,035,804	716,042,874	758,780,599	717,187,118
2 歳出総額 B		675,948,631	644,546,871	655,839,813	698,591,081	738,067,537	693,581,984
3 差引 (A - B) C		16,692,803	21,835,181	15,195,991	17,451,793	20,713,062	23,605,134
4 翌年度へ繰越すべき財源 (D ~ G) H		16,000,648	21,215,923	14,695,037	16,619,490	19,303,542	22,492,739
(1) 予算繰越額 D		13,155,209	18,004,847	11,576,650	13,267,938	16,255,778	19,286,258
(2) 事故繰越額 E				25,542	249,000		61,836
(3) 事業繰越額 F		2,845,439	3,211,076	3,092,845	3,102,552	3,047,764	3,144,645
(4) 支払繰延額 G							
5 実質収支 (C - H)		692,155	619,258	500,954	832,303	1,409,520	1,112,395
6 単年度収支		82,411	72,897	118,304	331,349	577,217	297,125

〔目的別〕

## 歳出決算額累年比較 (普通会計)

(単位：百万円)

区分	年度		17		18		19		20		21		22	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成
1 議会費	1,358	0.2	1,371	0.2	1,273	0.2	1,323	0.2	1,247	0.2	1,216	0.2		
2 総務費	38,158	5.6	29,099	4.5	37,388	5.7	31,577	4.5	39,819	5.4	32,990	4.8		
3 民生費	70,916	0.0	73,599	11.4	74,523	11.4	79,965	11.5	100,095	13.5	92,061	13.3		
4 衛生費	25,359	3.8	24,576	3.8	23,123	3.5	25,221	3.6	34,552	4.7	28,683	4.1		
5 労働費	2,051	0.3	1,969	0.3	1,863	0.3	9,962	1.4	11,104	1.5	10,333	1.5		
6 農林水産業費	71,368	10.6	67,023	10.4	63,122	9.6	67,219	9.6	64,850	8.8	55,829	8.0		
7 商工費	35,768	5.3	36,127	5.6	40,393	6.2	76,265	10.9	70,394	9.5	61,657	8.9		
8 土木費	110,077	16.3	90,639	14.1	93,359	14.2	97,878	14.0	98,624	13.4	95,599	13.8		
9 警察費	42,819	6.3	43,593	6.8	44,582	6.8	42,625	6.1	43,253	5.9	40,270	5.8		
10 教育費	160,482	23.7	161,424	25.0	160,568	24.5	157,223	22.5	157,847	21.4	155,869	22.5		
11 災害復旧費	3,096	0.5	4,270	0.7	4,262	0.6	667	0.1	883	0.1	1,123	0.2		
12 公債費	95,620	14.1	92,185	14.3	93,071	14.2	91,969	13.2	99,195	13.4	102,093	14.7		
13 諸支出金	1,335	0.2	1,010	0.2	933	0.1	867	0.1	821	0.1	826	0.1		
14 その他	17,542	2.6	17,662	2.7	17,380	2.7	15,830	2.3	15,384	2.1	15,033	2.2		
合計	675,949	100.0	644,547	100.0	655,840	100.0	698,591	100.0	738,068	100.0	693,582	100.0		

歳出決算額累年比較（普通会計）〔性質別〕

（単位：百万円）

区分	16		17		18		19		20		21		22	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成
1 人件費	215,343	30.0	211,810	31.3	213,466	33.1	213,174	32.5	206,550	29.6	202,263	27.4	198,425	28.6
2 物件費	19,668	2.7	17,222	2.5	16,118	2.5	15,640	2.4	15,363	2.2	17,518	2.4	18,616	2.7
3 維持補修費	4,210	0.6	4,207	0.6	4,425	0.7	4,427	0.7	4,775	0.7	6,070	0.8	5,588	0.8
4 扶助費	31,421	4.4	25,546	3.8	22,437	3.5	22,140	3.4	22,650	3.2	23,058	3.1	24,853	3.6
5 補助費等	91,887	12.8	103,571	15.3	107,527	16.7	112,925	17.2	111,479	16.0	118,877	16.1	126,544	18.2
6 普通建設事業費	196,847	27.4	172,401	25.5	145,650	22.6	149,480	22.8	153,753	22.0	161,185	21.8	148,849	21.5
(1) 補助事業費	116,961	16.3	107,843	16.0	88,646	13.8	87,265	13.3	90,839	13.0	94,131	12.8	76,604	11.0
(2) 単独事業費	65,656	9.1	50,156	7.4	44,474	6.9	48,720	7.4	44,824	6.4	52,329	7.1	62,727	9.0
(3) 国直轄事業 負担金	9,045	1.3	9,794	1.4	9,769	1.5	10,307	1.6	15,955	2.3	11,275	1.5	7,833	1.1
(4) 受託事業費	5,185	0.7	4,608	0.7	2,761	0.4	3,188	0.5	2,135	0.3	3,450	0.5	1,685	0.2
7 災害復旧事業費	4,351	0.6	3,096	0.5	4,270	0.7	4,262	0.6	667	0.1	883	0.1	1,123	0.2
(1) 補助事業費	4,177	0.6	2,996	0.4	4,040	0.6	4,247	0.6	661	0.1	870	0.1	1,112	0.2
(2) 単独事業費	168	0.0	92	0.0	230	0.0	15	0.0	6	0.0	13	0.0	11	0.0
(3) 国直轄事業 負担金	6	0.0	8	0.0										
(4) 受託事業費														
8 失業対策事業費														
(1) 補助事業費														
(2) 単独事業費														
9 公債費	108,794	15.1	95,588	14.1	92,156	14.3	93,021	14.2	91,911	13.2	99,130	13.4	102,093	14.7
10 積立金	4,638	0.6	9,416	1.4	7,013	1.1	6,341	1.0	21,027	3.0	49,863	6.8	14,967	2.2
11 投資及び出資金	549	0.1	252	0.0	160	0.0	97	0.0	136	0.0	50	0.0	49	0.0
12 貸付金	38,790	5.4	31,050	4.6	29,966	4.6	33,208	5.1	69,349	9.9	58,484	7.9	51,605	7.4
13 繰出金	1,642	0.2	1,790	0.3	1,359	0.2	1,125	0.2	931	0.1	687	0.1	868	0.1
合計	718,140	100.0	675,949	100.0	644,547	100.0	655,840	100.0	698,591	100.0	738,068	100.0	693,582	100.0

### 歳入決算額累年比較（普通会計）

（単位：百万円）

区分	17		18		19		20		21		22	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成	金額	構成
		%		%		%		%		%		%
1 地方税	109,425	15.8	115,664	17.4	130,191	19.4	129,108	18.0	117,252	15.5	110,775	15.4
2 地方譲与税	10,481	1.5	26,238	3.9	2,471	0.4	2,250	0.3	9,327	1.2	17,801	2.5
(1) 所得譲与税	8,000	1.2	23,826	3.6								
(2) 地方揮発油譲与税									1,312	0.2	2,264	0.3
(3) 地方道路譲与税	2,294	0.3	2,231	0.3	2,297	0.3	2,086	0.3	901	0.1	0	0.0
(4) 石油ガス譲与税	169	0.0	166	0.0	159	0.0	147	0.0	140	0.0	141	0.0
(5) 航空機燃料譲与税	18	0.0	15	0.0	15	0.0	17	0.0	19	0.0	18	0.0
(6) 地方法人譲与税									6,956	0.9	15,378	2.1
3 地方特例交付金等	9,707	1.4	751	0.1	1,041	0.2	1,932	0.3	1,280	0.2	1,908	0.3
4 地方交付税	234,587	33.9	233,897	35.1	230,453	34.3	226,777	31.7	212,301	28.0	219,669	30.6
(1) 普通交付税	230,987	33.3	230,665	34.6	227,603	33.9	223,697	31.2	209,156	27.6	216,366	30.2
(2) 特別交付税	3,600	0.5	3,232	0.5	2,850	0.4	3,080	0.4	3,145	0.4	3,302	0.5
5 交通安全交付金	521	0.1	542	0.1	534	0.1	484	0.1	491	0.1	479	0.1
6 分・負担金	7,494	1.1	6,176	0.9	5,883	0.9	9,803	1.4	5,209	0.7	6,761	0.9
7 使用料	9,156	1.3	9,150	1.4	9,074	1.4	9,088	1.3	9,006	1.2	5,880	0.8
8 手数料	2,523	0.4	2,431	0.4	2,406	0.4	2,368	0.3	2,444	0.3	2,392	0.3
9 国庫支出金	137,910	19.9	114,529	17.2	110,637	16.5	127,071	17.7	173,795	22.9	128,033	17.9
10 財産収入	2,392	0.3	2,737	0.4	3,252	0.5	3,509	0.5	2,787	0.4	2,376	0.3
11 寄附金	19	0.0	22	0.0	6	0.0	31	0.0	25	0.0	208	0.0
12 繰入金	6,690	1.0	4,492	0.7	16,039	2.4	18,801	2.6	18,160	2.4	23,155	3.2
13 繰越金	16,586	2.4	16,693	2.5	21,835	3.3	15,196	2.1	17,452	2.3	20,713	2.9
14 諸収入	48,684	7.0	44,692	6.7	47,652	7.1	69,942	9.8	75,442	9.9	64,957	9.1
15 地方債	96,466	13.9	88,368	13.3	89,562	13.3	99,683	13.9	113,809	15.0	112,081	15.6
合計	692,641	100.0	666,382	100.0	671,036	100.0	716,043	100.0	758,780	100.0	717,188	100.0
自主財源 1, 6, 7, 8, 10 ~ 14	202,969	29.3	202,057	30.3	236,338	35.2	257,846	36.0	247,777	32.7	237,217	33.1
依存財源 2, 3, 4, 5, 9, 15	489,672	70.7	464,325	69.7	434,698	64.8	458,197	64.0	511,003	67.3	479,971	66.9

### 建設事業費累年比較（普通会計）

（単位：百万円、％）

年度 区分	17		18		19		20		21		22	
	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率
1 普通建設事業費	172,401	12.4	145,650	15.5	149,480	2.6	153,753	2.9	161,185	4.8	148,849	7.7
(1) 補助事業費	107,843	7.8	88,646	17.8	87,265	1.6	90,839	4.1	94,131	3.6	76,604	18.6
(2) 単独事業費	50,156	23.6	44,474	11.3	48,720	9.5	44,824	8.0	52,329	16.7	62,727	19.9
(3) 国直轄事業 負担金	9,794	8.3	9,769	0.3	10,307	5.5	15,955	54.8	11,275	29.3	7,833	30.5
(4) 受託事業費	4,608	11.1	2,761	40.1	3,188	15.5	2,135	33.0	3,450	61.6	1,685	51.2
2 災害復旧事業費	3,096	28.8	4,270	37.9	4,262	0.2	667	84.4	882	32.2	1,123	27.3
(1) 補助事業費	2,996	28.3	4,040	34.8	4,247	5.1	661	84.4	870	31.6	1,112	27.8
(2) 単独事業費	92	45.2	230	150.0	15	93.5	6	60.0	12	100.0	11	8.3
(3) 国直轄事業 負担金	8	33.3	皆減									
(4) 受託事業費												
3 失業対策事業費												
(1) 補助事業費												
(2) 単独事業費												
合 計	175,497	12.8	149,920	14.6	153,742	2.5	154,420	2.5	162,067	5.0	149,973	7.5

## 主要財政指標累年比較

(単位：%)

区分		年度					
		17	18	19	20	21	22
経常収支比率	長崎	95.5	96.3	98.9	98.3	97.2	93.7
	全国	92.8	93.6	96.7	95.3	95.2	90.9
自主財源比率	長崎	29.3	30.3	35.2	36.0	32.7	33.1
	全国	43.7	45.4	50.1	48.1	42.0	41.1
実質公債費比率	長崎	12.5	10.9	10.2	10.1	11.4	12.8
	全国	14.9	14.7	13.5	12.8	13.0	13.5
将来負担比率	長崎	-	-	-	201.2	197.3	183.0
	全国	-	-	-	219.3	229.2	220.8

### 経常収支比率

人件費・扶助費・公債費など、その性質上毎年度経常的に発生する経費に対して、県税や普通交付税などの経常的に収入される一般財源等がどの程度充てられたかをみる指標です。

この比率が低いほど、建設事業費などの臨時的経費に充当できる一般財源等に余裕があり、財政構造の弾力性に富んでいることになります。

### 自主財源比率

県税などの自力で確保できる収入（自主財源）が歳入総額に占める割合をいいます。

自主財源とは、県税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入をいいます。

### 実質公債費比率

地方債制度が「許可制度」から「協議制度」に移行するに当たって設けられた比率で、従来の起債制限比率に含まれていなかった公営企業や一部事務組合の公債費に充てるための繰出金・負担金を含めた、県の実質的な公債費負担を示す指標です。

地方債の「協議制度」の下では、県は総務大臣に協議すれば、原則として自由に地方債を発行できますが、実質公債費比率が18%以上の団体については、引き続き地方債の発行に許可を要します。

また、実質公債費比率が25%以上の団体については、起債の制限を受けることになります。

### 将来負担比率

地方債残高や公社・第三セクター等の負債額、公営企業繰出金などの合算額から、地方交付税算入額や充当可能基金残高等を差し引いた将来にわたる実質的な負担額が、地方交付税算入額を除く標準財政規模に対して、どの程度の比率であることを示したものです。

将来負担比率が400%以上の団体については、早期健全化の対象となります。